

ISOC-JP (インターネット学会日本支部)

1. 組織の活動内容

Internet Society (ISOC) は、インターネット関係者が個人としても加入できる学協会である。1994年8月にはISOCの日本支部としてISOC-JPが結成された。具体的な活動としては、日本インターネット協会 (IAJ: 企業が会員) やAPNGと共同して、次のようなことを行っている。

- (1) 年に3回開かれるIETF (Internet Engineering Task Force) の会議に出席した人から報告を聞き、インターネット関係の技術および標準化の動向について研究する。
- (2) 年に何回か講演会を行う。
- (3) 研究グループにより研究を行う。たとえば言語の国際化 (Internationalization) については、東京工大の太田昌孝氏を中心にした研究グループがある。
- (4) 他のいろいろなグループと共同研究を行う。このISOC-JPへは、ISOCの会員 (年会費=35米ドル) ならば誰でも参加できる。参加費は無料である。興味のある方は、ishida@u-tokyo.ac.jpまでメールを寄せられたい。

2. 組織の概要

なお、以下にISOCの概要を述べておく。

- (1) 日本人の会員数と年会費: 約200人、年会費=35米ドル
- (2) 会長と本部: Prof. Larry Landweber (University of Wisconsin)
Internet Society
1895 Preston White Drive, Suite 100, Reston, VA22091, USA
(<http://www.isoc.org/>) (membership@isoc.org)
- (3) 日本からの役員: 副会長=石田晴久 (東大)、理事=後藤滋樹 (NTT)
- (4) 機関誌: 「On The Internet」(年に4回発行; これに載った記事をIAJの会誌に翻訳して載せることは許されている)
- (5) 主な事業:
 - ・ 国際会議
 - INET'92 (神戸: 組織委員長=相磯、プログラム委員長=石田)
 - INET'93 (サンフランシスコ: 900人が91か国より参加)
 - INET'94 (チェコのプラハ: 1994年6月13~17日、1,200人が参加)
 - INET'95 (ハワイ: 1995年6月28~30日)
 - INET'96 (モントリオール: 1996年6月25~28日) 日本からも多数の参加が期待されている。
 - ・ TCP/IP関係技術の開発と標準化
 - IAB (Internet Architecture Board) のIETF (Internet Engineering Task Force) の下にいろいろな作業グループを作って行っている。主な項目の中には、

CIDR

Classless Inter-Domain Routingの略。1993年に取り入れられたIPアドレスの割り当て方式。参考資料[RFC1519]

IPng

Internet Protocol next generation (次世代IP) の略。p. 12参照。

BGP

Border Gateway Protocolの略。自律的なネットワーク間のルーティングを行うために広く使われているプロトコル。現在のバージョンは4。

IPアドレスの拡張 (CIDR*やIPng*)、高度ルーティング (BGP4*など)、MIME* (マルチメディア・メール)、GIX* (Global Internet Exchange) などがある。この標準化作業には、日本からの貢献も求められている。年3回のIETF会議に技術者を送ることが重要である。

・発展途上国への技術移転

INETの会議の直前の1週間ワークショップを開き、途上国の人達を100人以上招いて、インターネットへの参加の仕方を教えている。これにも日本からの貢献が期待されているのはいうまでもない。

(6) 日本の企業会員

Founding members : IJ

Organization members : NTT、KDD、富士通、日立、NEC、日本インターネット協会 (IAJ)、GLOCOMなど

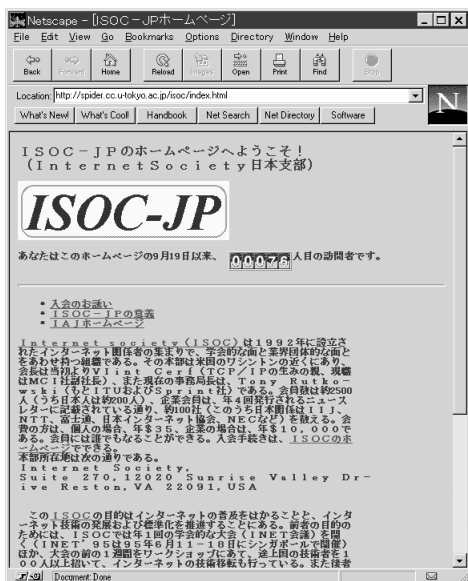
(石田晴久)

MIME

Multipurpose Internet Mail Extensionの略。電子メールでグラフィックスや音声などの非テキストデータ (バイナリデータ) を扱うための仕様。

GIX

インターネット上のネットワークが世界規模で相互に接続するための仕組み。



ISOC-JPのホームページ



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp